

柏南ロータリークラブ 会報

2025-2026 片岡達生年度



よいことのために
手を取り合おう



第46代会長 片岡 達生
幹事 井畑 和士 齊藤 洋子

第2045回 2026年4月28日 (火)

会長挨拶

先日2月26日の日曜日、次年度に向けたラーニングセミナーに参加してまいりました。地区各クラブから次年度の役員が集まり、ロータリーの基本理念や運営を改めて学ぶ場でしたが、会場には次の一年をより良いものにしようという熱気があり、大いに刺激を受けて帰ってまいりました。

いよいよ井畑年度が近づいてきています。新しい体制の準備は着実に進んでおり、私の年度も残りわずかとなりましたが、次年度への橋渡しをしっかりと務めてまいります。皆さまにもぜひ、井畑年度への期待と機運を一緒に高めていただければと思います。

そしてもう一つ、再来年度2027-2028年度の国際ロータリー2790地区第11グループのガバナー補佐に、当クラブから服部秀雄会員が選出されます。大変名誉なことです。すでに水面下で自身の年度の構想を練り上げ、着々と準備を進めているとの情報も届いております。ガバナー補佐の活動は次年度から始動いたしますので、ぜひクラブをあげて服部ガバナー補佐を支え、盛り立てていきましょう。

さて、本日の夜間例会では「職業と道徳」をテーマに、会員の皆さまによる1分間のリリーススピーチを行います。日々の仕事の中で何を大切にしているか、判断に迷ったときの基準は何か。ロータリーの職業奉仕とは、立派な理念を掲げるだけでなく、自分の職業に誠実であること、仕事を通じて社会への責任を果たす積み重ねにあると思います。今日は人数も多くありませんので、かえってお一人おひとりの実感がよく伝わる、よい時間になるのではないかと期待しております。



懇親会では服部ガバナー補佐ノミニーより補佐年度の向けて力強いお言葉を頂きました。

西南ゴルフ

4月1日に恒例の西クラブとのゴルフ対抗戦を開催されました。参加された方、お疲れ様でした。



国際セラピードッグ協会 視察

【活動報告】命をつなぐアニマルセラピー

5月14日、次年度会長の井畑和士幹事と片岡会長の2名で、特別養護老人ホーム「新とみ」を訪問しました。当クラブが進める児童養護施設「はぐくみの杜かしわ」への支援に向け、大木トオル代表が創設した国際セラピードッグ協会の活動を視察するためです。

セラピーの最初と最後には、大木代表のMCで犬たちを紹介する賑やかなセレモニーがありました。それ以外のほぼ全ての時間を、私たちへ直接お話しいただくために割いてくださいました。

現場では、重度の認知症のご高齢者へのセラピーを見学。開始前のどんよりとした空気が、犬たちとの触れ合いで一変し、お年寄りに笑顔と活気が戻る姿に驚かされました。これは単なる癒やしではなく、機能回復を目指す「治療」なのです。

代表のお話で特に印象に残ったのは「私がいくら熱く語っても、犬によって生命力を取り戻す人たちの姿には敵わない。すべて犬の力です」という言葉です。

かつて千葉県は「世界で最も犬を殺処分する場所」でした。米国で活動していた代表は、海外の友人から「人前に出る人間は、自国を変えることをライフワークにする義務がある」と指摘されたそうです。その言葉を胸に戦い続け、ついに動物愛護法が改正され、犬猫は「モノ」から「命」へと変わりました。

殺処分寸前で救助され、人間を信じる力を取り戻した犬たちが人を癒やす姿は、辛い背景を持つ施設の子どもたちの再生に深く通じます。「犬の力」が子どもたちに温かい灯をともすと確信した視察でした。

